

## 平成30年度

## 事業報告書

## 特定非営利活動法人ライツオン・チルドレン

## 1 事業の成果

平成30年度は受益者を「児童養護施設の子ども・退所者」から「社会的養護の子ども・措置解除者」に拡大することを図った。パソコン講習会（e2プロジェクト）とクッキング・クラスは29年度と同様に実施した。パソコン講習会は発展編への参加者が例年より多くなった。職業体験（ジョブリハ）では、昨年度まで継続してきた「ホテルの仕事」が休止となる一方、29年度末から開始した「プログラミングの仕事」を30年度の12月まで1年間実施し、高校生らがゲーム制作やデザインの作品を完成させた。社会的養護に関する情報発信と啓発に関しては、オンラインメディア「社会で子育てドットコム」を開設して児童養護施設のニーズ等を取材・発信し、万単位の閲覧（ページビュー）があった。企業内セミナーは5回実施し、初めて母子生活支援施設に関するセミナーも行った。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【3840】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
社会的養護の措置解除者に対する自立支援事業	【e2プロジェクト】対象となる子どもに2日間のパソコン講習とパソコン1台を提供する。希望者には資格取得等のための発展編講習も実施。	基礎編：毎月1回、発展編：希望があった月に1回	ロッカーズ・ルーム（事務所）	のべ48人	児童養護施設の高校生・退所者等	基礎編：38人、発展編：のべ15人	2360千円
	【ジョブリハ】プログラミングに関するスキルトレーニング、職業体験実習を実施する。	毎月1回	ロッカーズ・ルーム（事務所）	10人	児童養護施設の高校生・退所者	8人	450千円
	【ロッカーズ・ルーム】クッキング・クラスを実施し、措置児童・措置解除者の居場所づくりを目指す。	7月、11月、1月、2月、3月に1日ずつ	ロッカーズ・ルーム（事務所）	のべ27人	児童養護施設の高校生・退所者等	のべ19人	230千円
パーソナルコンピュータ及び情報機器の再資源化事業	【e2プロジェクト】企業等の廃棄パソコン類を回収・リユースする。	企業から要請があれば随時	希望のあった企業等	2人	児童養護施設の高校生・退所者等	60人	15千円
児童福祉の浸透と啓発を図る事業	【社会で子育てドットコム】ウェブサイトを通じて社会的養護の浸透・啓発を行う。	随時（常設ウェブサイト）	<a href="https://shakaidekosodate.com">https://shakaidekosodate.com</a>	2人	不特定多数	不特定多数	750千円
	【企業内・社員向け啓発セミナー】企業に赴いて社会的養護に関する普及啓発を行う。	6月、9月、10月に1回ずつ、3月	丸の内トラストタワー、霞が関ビル	のべ13人	実施企業の社員	のべ100人程度	15千円

		に2回	ほか				
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	法律と退所者支援に関する勉強会を開催し、法律と福祉の両面から退所者支援の理解を深める。	1月23日、 3月22日	ロッカーズ・ルーム（事務所）	のべ4名	弁護士、 児童養護施設施設職員	弁護士のべ7名、 児童養護施設施設職員のべ8名	20千円

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)